

# 三田市における保護猫活動 について

## 飼い主のいない猫が増えると...

①猫同士で繁殖が盛んになり、子猫が生まれ、不幸な野良猫が増える

②発情期の鳴き声やスプレー行為（縄張りを示すにおい付け行為）が増える

③猫が集まり、猫の喧嘩による怪我、感染症や交通事故が起こる確率が高くなる

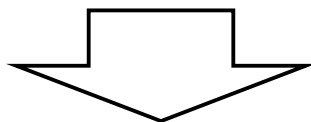
## 三田市が行っていること

- ・ 不妊去勢手術費の助成
- ・ 捕獲器・猫除け器の貸し出し



## 残された課題

- ・ 飼い主のいない猫による被害の苦情
- ・ 助成金の上限額の引き上げを求める声



より効率的な保護猫活動や住民からの理解が必要

## 提案①

### 高校生が作った保護猫に関するポスターを 三田市役所に掲示

高校生が作ることで同世代の人たちや大人の方々にも関心を持ってもらいやすい



住民からの理解を得るのに効果的

## 提案②

※60日間の貸し出しが可能  
在庫の5台を使い回している

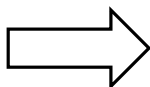
### 捕獲器の台数の増加

	在庫	R5	R6(9月末現在)
捕獲器 (R5.10.5～ 運用開始)	5台	6件 のべ7台	8件 のべ14台
猫よけ器 (R6.5.1～ 運用開始)	5台	—	14件



### 提案③

1匹につき上限8,800円  
補助対象は手術費のみ



上限額の引き上げが必要

猫の不妊去勢手術は16,000円～30,000円の場合が多い  
現在、ワクチン費用は対象外

これらを行うことで...



地域の猫の被害に困っている人と可哀想な猫を  
助けたい人の共通する思いを実現でき、より住  
みやすい街に